

シーボルト・200年前の 江戸への参府旅行

仮装デモンストレーション

シーボルトは、1826年2月17日に30歳の誕生日を迎える2日前に、長崎の出島を出発して江戸に向かいました。
その参府旅行については、WEBマガジン『きらめき ぷらす』で連載された
横山実「シーボルトの江戸への旅路」をお読みください。



オランダ商館長

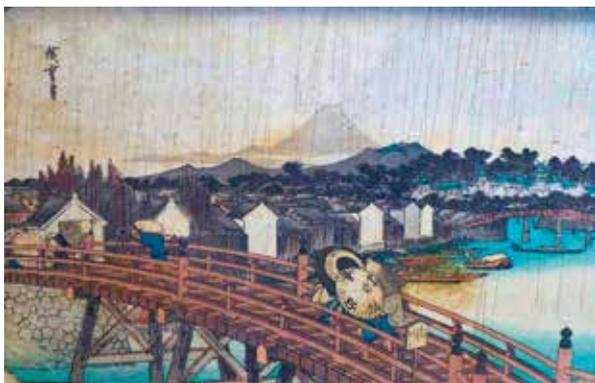


シーボルト



ビュルガー（助手）

名古屋のオペラ衣裳制作会社エフ・ジー・ジーが制作した衣裳です。衣裳のデザイン画の顔は、本人の肖像画に基づいていません



歌川広重筆「東都毎所 日本橋之白雨」

「シーボルトは、4月10日の午後1時20分に、
雨中に日本橋を渡って、
現在の日本橋室町4丁目の
阿蘭陀宿・長崎屋に到着しています。

主催：シーボルト江戸参府200年記念事業実行委員会
代表 大胡真人
(文理シナジー学会 シーボルト街道研究会代表)
副代表 横山 実
(國學院大學名誉教授、国際浮世絵学会理事・
ポーラ伝統文化振興財団評議員)

問い合わせ先：107-0052 東京都港区赤坂 4-11-9 (横山 実)